

1.2 歳
クラス

親子でリトミックあそび

2.3 歳
クラス

「あそび」の中で大きくなろう！

入会金：2,000 円
教材費：2,000 円（年 1 回）
月謝：6,000 円
日時：水曜日 毎月 3 回
1.2 歳児クラス 10：20～11：00
2.3 歳児クラス 11：20～12：00

お申込み&お問い合わせ

電話：03-3387-5461

メール：aei@toy-art.co.jp



ゆっくり じっくり 順序よく

「早くできること」も必要ですが、「ゆっくり、じっくりする」ことも欠かせません。
一人ひとりの成長をしっかり見守る『大人の目』と『待つ心』を大切にしている教室です。

よくみて・よくきいて

家族、友達や他人とのかかわりが増えたり、行動範囲が広がることで、興味や関心がまし、「楽しい」「嬉しい」「悲しい」「悔しい」等をたくさん感じ、その想いを身体にため込む時期

やってみたい

ため込んださまざまな気持ちを誰かに伝えたい！という気持ちが芽生えたり、伝わった喜びを体験したり、大人や友達のまねなどを介し、表現方法を試行錯誤する時期

こんな風にしたい

もっとこんな風にしたら伝わりやすいかも？試行錯誤の中からさらに研鑽を積み、さまざまな方法を試してみたり、自分らしい表現方法を見つけたりする中で、自信が生まれ、育つ時期

「リトミックあそび」が、子どもたちの総合的な発達を応援！

- ★ 積極的に参加する子
- ★ 自分の気持ちを伝えたい、人の気持ちが理解できる子
- ★ いろいろな角度からじっくり観察し、考えられる子
- ★ いろいろなことに挑戦し、新しい発見のできる子
- ★ みんなと一緒に楽しめる子



表現したい心 表現しようとする気持ち 表現できる身体 「偶然の動き」を「意味ある動き」に！

- ◆ 遊びの中で成長する・・・遊びの中でこそ育つ信頼関係や社会性、協調性と集中力
- ◆ 集団の中で成長する・・・お友だちへの憧れと競争心、一緒に何かをする喜びの体験
- ◆ 安心できる環境の中で成長する・・・認めあう関係の中で、伝えようとする気持ちが育つ
- ◆ 繰り返しの中で、成長する・・・「何するの？」から「またやりたい!」「こうしたい!」へ
- ◆ 大人も一緒に成長する・・・「教える」のではなく一緒に体験することでお互いに育ちあう



画像で体験！お教室はこんなところ



お教室
に到着



指の
体操



お散歩
ゲーム



手遊び歌・
絵本



さよなら
のうた

ごあいさ
つのうた



くだもの
キャッチ



おへんじ



テーマ
活動



1.2 歳児クラス

- 音の聞こえる時と聞こえていない時がわかる
- 名前を呼ばれていることがわかり返事をする
- 先生や友達のまねをしてリズムをたたく
- 絵を見たり、簡単な造形活動を通して、イメージを明確にする

2.3 歳児クラス

- 音やリズム、音色を記憶して動く
- 音の高さや速さを判断し、ピアノに合わせて返事をする
- 友達と協力してリズムや動きを創作する
- 経験から簡単な物語を一緒に創り、表現する

講師 津村 一美（つむら かずみ） 芸術教育研究所職員



墨田区在住

平成元年より就園前の親子を対象にリトミック教室の指導を始める。産経学園蒲田、すみだ生涯学習センター（ユートリア）をはじめ、カルチャーセンター等の講座を経て、2000年より「親子サークル“はじめのいっぽ”」を主宰。江戸川区・江東区の公共施設などで教室を展開。今までに3500人以上の子どもたちと出会う。

平成 15 年 芸術教育研究所入所

「夏の芸術教育学校」「子どもアートスクール」の運営等に携わる。

2006 年「親子リトミック教室」開校

2008 年「まちなか子育てサロン“あーとりえ”」開始

著書：乳幼児のためのリトミックあそびはじめの一步

資格：幼稚園教諭・保育士資格

リトミックインストラクター おもちゃコンサルタント・おもちゃインストラクター
レクリエーションインストラクター・折り紙講師

教室エピソード

- **子どもも緊張するの??**

初めての場所は、大人でも緊張するもの。ましてや毎日初めてづくしの生活を送っている子どもたちにとっては、好奇心に目を輝かせてばかりはられないようです。体験レッスンに来た時には、走り回ったり、動けなくなったり、泣いたり、時には手が出てしまうことも。それぞれがそれぞれの方法で、緊張感と戦っているんですね。「教室ではなにもしなかったのに家に帰ったら今日でのことをすべてやっていた」というお話はよく聞きます。少しずつお友だちにも慣れ、場所にも慣れていきます。その速さはそれぞれなので、大人はいらだつこともありますが、温かい目で見守ってほしいですね。



- **子どもたちでも先輩風はふかすもの**

随時入会 OK のこの教室では、少し前に入った子どもが、新入生のお世話を焼いてくれることがよくあります。泣いているとそっと顔を覗き込んでみたり、ボールを渡そうとしてくれたり…一度、教室が始まる際になかなかそれまで遊んでいた車をお片付けできなかつた新入生に向かって、先輩がおかたづけの箱を目の前に持っていきじっと差し出していることがありました。おたがいにことばは交わさず、先輩はじっと動かさず。新入生も「そうかここにいれるのか」と思ったようで、そっとその箱の中に車を入れました。2人とも怒ることもなく、泣くこともなく、無理やり何かをさせることもなく静かにその時間が流れ、穏やかに教室を始めることができました。大人たちがじっと見守る中で、子どもたち同士にまかせることもできるんだなあと改めて感じました。

- **「ママ、僕のこと好き？」**

小さな子どもたちは、ママの些細な変化にも敏感です。幼稚園に上がるからとか、赤ちゃんが生まれてお兄ちゃん、お姉ちゃんになるからと大人の都合で勝手に自立を押し付けていることはありませんか？「ママは本当に僕（私）のことが好きなのかしら？」そんな時に必要以上に甘えてみたり、わざと乱暴なことをしてみたりと彼らはさまざまな手を使ってきます。それにまんまと乗せられて怒ったり、突き放すのは逆効果。「大好き！」の気持ちを込めて抱きしめるだけで OK。安心して満足できればいつの間にかママから離れていき、かえってママがさみしくなってしまうこともあるようです。「幼稚園バスが来たら『行ってきます』って行っちゃったんです。午前中悲しくて泣いちゃいました。」っていうママもいましたよ。

- **「〇〇ちゃん、今日来ないね」**

少しずつ教室に慣れてきて「お友だち」という存在に気づき始めると少々トラブルもおこりがち。お友だちのものが欲しくなったり、お友だちを押しつけてけんかになっちゃったり。でも多少のトラブルは起きない方が不思議です。誰かと関わることで初めてその距離感や力関係がわかってくるもの。けがをしないための配慮は必要ですが、神経質になりすぎないことがポイント。いつの間にか「なんか楽しいよねえ」なんて子ども同士で話していたり、お休みのお友だちを気遣ったり感情を共有できるようになるようです。



「うちの子落ち着きがなくて」「どうも引っ込み思案で」「お友だちとよくけんかになる」など、お母さまのご心配は 20 年以上前に私が教室を始めた頃からあまり変わりません。単純に丈夫とだけお伝えすればいいわけではありませんが、子どもたちはそれぞれのペースで必ず成長しています。そのペースが大人が思っているよりも遅かったり、わかりにくかったりするから心配になるのです。一緒に心配し、一緒に成長を喜び合えたら私も幸せです。

保護者の方、卒業生からの声

- ◆ 人見知りで初めは緊張していましたが、今は自由になってきたようです。教室でのことを家でも思い出し話をしたり、歌を歌ったり親子で楽しんでいます（1.2歳児クラス）
- ◆ はじめは走り回ってばかりでしたが、いつの間にかお友だちと一緒に歩いたり歌ったり、手を叩くことにも興味が出てきて、親子で楽しめるようになりました（1.2歳児クラス）
- ◆ うちの子には難しいかなと思う部分もありますが、それがよい刺激になっているようです。繰り返しの動きは、家でも突然することもあります（1.2歳児クラス）
- ◆ 季節や個人差に応じて内容に変化があり、親も子も安心して楽しめました。教室に通ううちにできることも増え、お友だちの輪の中に自分から入るようになりました（2.3歳児クラス）
- ◆ 人見知りが激しかった娘が、率先して物事に取り組んだり、物おじせずに人と話したりできるようになりました（2.3歳児クラス）
- ◆ 上の子の時代からお世話になっています。弟にとって家に帰ってから姉に教室の話をしたり、姉も弟の話を聞いたりすることがお互いにとても楽しいようで、兄弟のコミュニケーションのひとつになっているようです（2.3歳児クラス）

